

令和2年度事業報告書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

1 会員の概況等

(1) 会員数

当年度当初会員数		増	減	年度末会員数
正会員	26	0	0	26
準会員	43	0	0	43
計	69	0	0	69

(2) 会費

ア 一般会費

(ア) 正会員 130,000 円/年×26 社=3,380,000 円

小計 3,380,000 円

(イ) 準会員 28,000 円/年×43 社=1,204,000 円

小計 1,204,000 円

合計 4,584,000 円

イ 負担会費

(ア) 検定品

① 金属製避難はしご製造事業者(9 事業者)(50 音順以下同)

オリロー、城田鉄工、瀬戸興産、セフ、ナカ工業、松本工業、マルニシ、宮本、ヤマトプロテック

② 緩降機製造事業者(3 事業者)

上田消防建設、オリロー、消防科学研究所

種別	受検社数	検定申請台数	負担会費(円)	未収金(円)
金属製 避難はしご	9	133,732	3,343,300	0
緩降機	3	5,115	767,250	0
計			4,110,550	0

(イ) 認定品・評定品

① 金属製避難はしご以外の避難はしご製造事業者(2 事業者)

トーヨー消火器工業、サンコー

② 救助袋製造事業者(5事業者)

石川商工、上田消防建設、齋田産業、タカオカ、富士産業

③ すべり台製造事業者(2事業者)

ジャクエツ、石川商工

④ 避難ロープ・避難ロープ装置製造事業者(2事業者)

石川商工、トーヨー消火器工業

種別	受検社数	認定評定申請台数	負担会費(円)	未収金(円)
避難はしご	2	2,955	73,875	14,475
救助袋	5	3,735	1,125,500	241,750
すべり台	2	8	16,000	2,000
避難ロープ 避難ロープ装置	2	14,248	142,480	31,330
計			1,357,855	289,555

負担会費合計 5,468,405 円

未収金 289,555 円

ウ 事業収入

(ア) 証票交付対象事業者(15事業者)(50音順)

上田消防建設、エム・テー工業、オーテック、オリロー、城田鉄工、瀬戸興産、セフ、タカオカ、ナカ工業、松本工業、マルニシ、宮本、ヤマトプロテック、吉池製作所

① 型式認定等

型式認定・認証	申請件数	金額(円)
新規	0	0
型式変更	0	0
改修	0	0
計		0

② 個別認定等

個別認定・認証	申請台数	金額(円)
新規	97,320	11,678,400
改修	20,980	3,147,000
非格納	1,280	192,000
計		15,017,400

2 会議等

(1) 総会

ア 令和2年度第1回臨時総会(書面開催)

(ア) 総会の決議があったとみなされた日 令和2年4月27日(月)

(イ) 提案者 業務執行理事 生貝英樹

(ウ) 議案

理事会への報告に関する特例措置(案)

(エ) 内容

定款第25条第5項に基づき、役員の職務として、会長、副会長、常務理事は、毎事業年度内に4ヵ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況について、理事会を開催し報告しなければならないが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言を受け、「令和元年度の業務執行状況に関する理事会への報告」については、「理事会への報告に関する特例措置(案)」として、今回に限り理事会への報告は書面によるものとして取り扱うことと提案された。定款第52条(この定款の施行について、必要な規程等は、総会の決議により会長が別に定める。)に基づき、正会員に諮ったところ、全員異議なく同意とされたので、本議案は可決成立した。

イ 第38回通常総会(書面開催)

(ア) 総会の決議があったとみなされた及び通常総会に報告があったと見なされた日 令和2年6月5日(金)

(イ) 提案者 業務執行理事 生貝英樹

(ウ) 議案

① 令和元年度事業報告書案及び収支計算書等財務諸表案の承認の件

② 報告事項 令和2年度事業計画書及び令和2年度収支予算書

(エ) 内容

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、本年度の通常総会は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下法人法という)第58条1項、同条4項に基づき、「令和元年度事業報告案及び収支計算書等財務諸表案の承認について」は社員総会の決議の省略による

手続きを取り、正会員に諮ったところ、全員異議なく同意とされたので、本議案は可決成立した。

また、報告事項の「令和2年度事業計画書及び令和2年度収支予算書」については、一般社団法人および一般財団法人に関する法律第59条による手続きを取り、総会に報告すべき事項を通知し、通常総会(法人法における社員総会)に報告することを要しないことに同意を求める旨で、正会員に諮ったところ、全員異議なく同意とされたので、本事項は通常総会に報告することを要しないとされた。

(2) 理事会

ア 第1回理事会(書面開催)

(ア) 理事会の決議があったとみなされた日 令和2年5月15日(金)

(イ) 提案者 代表理事 菊池信

(ウ) 令和元年度収支計算書案について

(エ) 議案

報告事項 業務執行状況の報告

(オ) 内容

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、第1回理事会は、定款第35条第2項の規定に基づく一般社団法人及び一般財団法人に関する法律96条による手続きとし、議案の承認を諮るものとした。役員全員の同意を求めたところ、全員の同意が有り、かつ監事からの意見もなかったので、「令和元年度収支計算書案について」は可決承認された。また、定款第25条第5項の規定に基づく「理事会への業務執行状況の報告」については、臨時総会において「理事会への報告に関する特例措置」が採択されたのを受け、書面にて報告が行われた。報告内容について、全員の同意が有り、かつ監事からの意見もなかったので、「理事会への業務執行状況の報告」は報告をされたものとされた。

イ 第2回理事会

(ア) 日時 令和2年10月19日(月) 13時28分～14時08分

(イ) 場所 東京都港区西新橋一丁目6番15号 NS虎ノ門ビル AP虎ノ門

(ウ) 出席者 10名(うち監事2名)

菊池信会長、齊田啓子副会長、生貝英樹常務理事、平野清治理事、重盛弘子理事、喜田大輔理事、吉池達郎理事、富岡陽理事、前田善衛監事、小池秀樹監事

(エ) 議案の内容及び議決結果

報告事項

- ① 定款第 25 条第 5 項の規定に基づく業務執行状況の中間報告について

事務局から、令和 2 年度事業執行状況及び収支状況の中間報告について説明があった。事業報告については諸行事の報告など、収支計算書については、収入面・支出面のうち大きく差異がある部分の要点について詳しく説明され、報告がなされた。質疑応答では特別に質問はなく、報告は完了となった。

- ② 避難器具用ハッチ認定規程・避難用ハッチ認証規程改定進捗状況について

避難器具用ハッチ認定規程・避難用ハッチ認証規程改定進捗状況について報告があった。各製造者に対しては今般の新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、立入調査の機会をとらえて内容を説明し、特別に説明会を開催しないこと、令和 3 年 4 月を目途に改訂することとされた。

- ③ 令和 3 年度新年名刺交換会・新年互礼会開催中止について

例年行われる新年名刺交換会・新年互礼会については、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、中止とされたこと、後日会員宛には中止となった旨の連絡が機器協会よりあることが報告された。

- ④ 令和 2 年度の理事会日程及び令和 3 年度総会開催日程について
下記の予定であることが報告された

- | | |
|------------------|--------------------|
| a 令和 2 年第 3 回理事会 | 令和 3 年 3 月 17 日(水) |
| b 令和 3 年第 1 回理事会 | 令和 3 年 5 月 11 日(火) |
| c 第 39 回通常総会 | 令和 3 年 5 月 26 日(水) |
| d 令和 3 年第 2 回理事会 | 令和 3 年 5 月 26 日(水) |

ウ 第 3 回理事会

- (ア) 日時 令和 3 年 3 月 24 日(水) 13 時 28 分～14 時 08 分

(イ) 場所 東京都港区西新橋一丁目 6 番 15 号 NS 虎ノ門ビル AP 虎ノ門

(ウ) 出席者 10 名(うち監事 2 名)

菊池信会長、齊田啓子副会長、生貝英樹常務理事、重盛弘子理事、上田勝也理事、佐藤康雄理事、富岡陽理事、前田善衛監事、小池秀樹監事

(エ) 議案の内容及び議決結果

第 1 号議案 定款第 25 条第 5 項の規定に基づく業務執行状況の報告について

生貝常務理事から、資料 1 を用いて令和 2 年度事業執行状況及び収支状況について説明があった。事業報告については諸行事の中止についての報告など、収支計算書については、コロナ禍により収入面が落ち込んだ点や各行事の中止による支出面減少等、内容について詳しく説明され、報告がなされた。質疑応答では特別に質問はなく、定款第 25 条第 5 項に基づく報告があったものとして、承認された。

第 2 号議案 令和 3 年度事業計画書案について

事務局から、資料 2 を用いて令和 3 年度事業計画書案について説明があった。計画書案には各種申請のオンライン化の取り組みや情報発信の強化などが盛り込まれ、それぞれの内容について詳しく説明された。質疑応答では特別に質問はなく、第 2 号議案は原案通り承認された。

第 3 号議案 令和 3 年度予算案について

事務局から、資料 3 を用いて令和 3 年度予算案について説明があった。当年度の見通しから作成された予算案には、規程改定に伴う避難器具用ハッチ認定業務及び避難用ハッチ認証業務の価格改定を盛り込んだ予算が提示されたが、重盛理事より原材料の高騰による収益の悪化に伴い、価格改定について延期をするという提案がなされた。質疑応答では佐藤理事により認定業務の考え方の説明や、上田理事により改定に関する事前説明が事務局より十分に為されていたとの発言、前田監事より延期を前提にした予算案

の修正の提案などがあり、最終的に出席者による多数決裁決となり、賛成4反対3で第3号議案は原案通り承認された。

第4号議案 令和3年度全国避難設備工業会会長表彰者について

事務局から、資料4を用いて令和3年度全国避難設備工業会会長表彰者についての選考に関する説明があった。まず本年度は正会員より10名の推薦者があり、そのまま候補者としたこと、準会員より9名の推薦者があり、そのうち昨年度見送りとなった推薦者3名を優先して選考し、残る2名を社歴、年齢等を加味して選考した旨が説明され、第4号議案は原案通り議決された。

第5号議案 令和3年度総会・会長表彰式・懇親会について

事務局から、資料5を用いて令和3年度定時総会、会長表彰式及び表彰祝賀会・総会懇親会の開催について、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等の観点から通常総会は密にならないことを考慮した上で開催し、会長表彰式及び表彰祝賀会・総会懇親会については開催を中止したい旨の説明があった。他工業会等の動向も加味し、また全国消防機器協会の議決などを参考に意見が述べられた。審議の結果、当工業会における会長表彰式及び表彰祝賀会・総会懇親会の開催については、中止とすることが議決された。

報告事項

① 令和3年度全国消防機器協会会長表彰候補者推薦について

理事会に先行して行われた会長副会長会において、事務局提案の推薦者3名について推薦承認があった旨の報告が為された。

② 令和3年度消防関係業界功労者表彰(消防庁長官表彰)候補者推薦について

前項と同じく会長副会長会において、事務局提案の推薦者2名について推薦承認があった旨の報告が為された。

(3) 会長・副会長会

ア 第1回会長副会長会

第1回会長副会長会については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、7月7日に電磁的記録により行い、令和2年度消防機器開発普及功労者表彰(消防庁長官表彰)推薦者2名の選定を行った。

イ 第2回会長副会長会

第 2 回会長副会長会については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、3月8日に事務局長が会長副会長を訪問する形で行い、令和2年度見通し、令和3年度事業計画及び予算案、工業会会長表彰受賞者、機器協会会長表彰者の推薦、令和3年度消防機器開発普及功労者(消防庁長官表彰)の推薦について確認された。

(4) 登録認定業務・自主認証業務に基づく委員会・立入調査等

ア 避難器具用ハッチの認定状況の確認

(ア) 型式認定 0件

(イ) 型式変更 0件

イ 避難用ハッチ等の認証状況の確認

(ア) 型式認証 0件

(イ) 型式変更 0件

ウ 軽補正 9件(避難用ハッチ等の軽補正を含む)

エ 個別認定状況の確認

(ア) 個別申請数 214件

(イ) 証票交付台数 97,320台

オ 個別認証状況の確認

(ア) 個別申請数 82件

(イ) 証票交付台数 20,360台

カ 避難器具用ハッチ認定規程第18条に基づく立入調査

(ア) 14社17工場を対象に下記の日程で立入調査を行った。各工場について不適格な内容は見受けられなかった。

	調査日	調査先	委託元
1	令和2年10月15日(木)	株式会社イガコー	城田鉄工株式会社
2	令和2年10月27日(火)	エム・テー工業株式会社	
3	令和2年11月2日(月)	株式会社マルニシ	
4	令和2年11月5日(木)	オリロー株式会社	
5	令和2年11月19日(木)	有限会社オーテック	
6	令和2年11月19日(木)	三郷ステンレス株式会社	株式会社セフ

7	令和2年11月20日(金)	株式会社セフ	
8	令和2年11月20日(金)	有限会社小澤製作所	株式会社セフ
9	令和2年11月26日(木)	ナカ工業株式会社東京工場	
10	令和2年12月3日(木)	株式会社瀬戸興産	
11	令和2年12月9日(水)	株式会社宮本	
12	令和2年12月10日(木)	ヤマトプロテック株式会社	
13	令和2年12月10日(木)	上田消防建設株式会社	
14	令和2年12月11日(金)	株式会社タカオカ	
15	令和2年12月15日(火)	有限会社吉池製作所	
16	令和2年12月17日(木)	松本工業株式会社	
17	令和3年3月26日(金)	ナカ工業株式会社札幌工場	

(イ) 今期はコロナウイルス感染拡大予防に伴い、海外の2工場については立入調査を行わなかった。

キ 避難器具用ハッチ認定に関する規程及び認定手数料の改定(令和3年4月1日施行)

ク 改修避難用ハッチ、非格納型避難用ハッチ、改修非格納型避難用ハッチ認証に関する規程及び認証手数料の改定(令和3年4月1日施行)

ケ 避難器具用ハッチに付加する機能評価品認証規程の制定(令和3年4月1日施行)

コ 認定業務に係る監査 令和3年4月27日

監査者 齊田副会長、富岡理事

指摘事項は特になかった。(監査報告書 参照)

(5) 工業会会長表彰

本年度は新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、令和2年5月26日付で会長表彰を行い、受賞者には表彰状及び記念品を送付することとした。

(6) 表彰者祝賀会懇親会

本年度は新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、開催を中止した。

3 一般社団法人全国消防機器協会に対する協力等

(1) 理事会、事務局長会議等への出席

ア 通常総会 令和2年5月29日(金)

- (ア) 令和元年度事業報告書及び収支決算書等の承認について
- (イ) 令和元年度公益目的支出計画実施報告書等の承認について
- (ウ) 報告事項 令和2年度事業計画書及び収支予算書

イ 理事会

(ア) 第1回理事会 令和2年5月7日(木) (書面による手続)

- ① 令和元年度事業報告書及び令和元年度決算報告書の承認について
- ② 令和元年度公益目的支出計画実施報告書の承認について

(イ) 第2回理事会 令和2年10月7日(水)

- ① 令和2年度事業執行状況・収支状況の中間報告について
- ② 事務所の仮移転について
- ③ 令和3年新年名刺交換会・新年互礼会の開催について
- ④ 報告事項等

ウ 社会貢献委員会への協力

機器協会理事会と同日に開催された。

エ 事務局長会議

原則毎月第一火曜日に開催された。

オ 消防機器等製品情報センター会議への協力

事務局長会議と同日に開催された。

4 日本消防検定協会主催の会議等

- (1) 令和2年4月22日(水)に業務懇談会が予定されていたが本年は開催延期となり、書面による開催となった。

(2) 検定協議会全体会議が令和3年2月17日(水)オンライン開催された。

5 一般財団法人 日本消防設備安全センター主催の会議等

(1) 理事会

令和2年6月9日(火)開催予定の理事会及び令和3年3月5日(金)開催予定の理事会は書面開催となった。

(2) 評議員会

令和2年6月25日(木)開催予定の評議員会及び令和3年3月23日(火)開催予定の理事会は書面開催となった。

(3) 第2種消防設備点検資格者講習への講師派遣

新型コロナウイルスの感染拡大及び緊急事態宣言を受け、4月・5月の講習は全て中止順延となり、6月は感染状況の影響が少ない箇所から再開された。以降は順次開催されたが、定員を通常時より減らすなどの対策が施され、延べ人数の調整のために開催数は増となった。

各都道府県 本講習 39回 再講習 99回 合計 138回

(4) 各種テキストの改訂協力

ア 消防防災関係教材等作成委員会

本年度は書面による開催とされた。

イ 消防防災関係教材等作成委員会第5部会

本年度は書面による開催とされ、修正等は8月28日(金)に確認の上、9月7日(月)に完了した。

6 都道府県設備協会等への講師派遣

8都府県 延べ44回

7 その他講習・会議

(1) 点検済表示委員会（東京防災救急協会）

ア 令和2年度第1回 令和2年9月24日(木) スクワール麴町

イ 令和2年度第2回 書面開催とされた。

(2) 重要文化財(建造物)等防災施設整備事業(防災施設等)指針策定に係る協力者会議

ア 令和2年12月25日(金) 文化庁文教施設企画・防災部会議室

イ 令和3年2月19日(金) WEB 会議

8 文書、図書の配付

- (1) 検定協会だより 令和2年4月～令和3年3月
- (2) 自主表示届出番号一覧表
- (3) 一般社団法人全国消防機器協会会員名簿・号外
- (4) 一般社団法人全国避難設備工業会会員名簿
- (5) 公式文書 R02-01号からR02-34号まで
- (6) ウェブサイトの更新 随時(4月以降71回)

9 表彰

(1) 全国避難設備工業会会長表彰

ア 令和2年5月26日(火)

イ 受賞者 下記15名(敬称略)

関根 秀和	オリロー株式会社 参事
堀 義明	株式会社初田製作所 FPS 事業部 枚方工場 工場長
石井 佳正	ナカ工業株式会社 東日本営業推進部部長
周藤 英男	ヤマトプロテック株式会社 営業本部大阪営業部2課課長
大江 和也	有限会社オーテック 代表取締役社長
細貝 健次	株式会社消防科学研究所 技術部
齊田 啓子	齋田産業株式会社 代表取締役社長
勝本 博	株式会社カマタ興業
谷口 均	有限会社ナニワ防災 代表取締役社長
金森 俊介	ニチボウ株式会社 防災コンサルタント室室長
増田 幸喜	株式会社スエヒロ 柏営業所 所長
鈴木 信夫	斎友消防設備株式会社 業務部 課長
竹田 昌弘	マルヤマエクセル株式会社 東日本営業所千葉グループリーダー
桐谷 美親	中央理化工業株式会社 本社設備部 課長代理
篠原 徹	シノハラ防災株式会社 代表取締役専務

(2) 全国消防機器協会会長表彰

ア 令和2年5月29日(金)

イ 受賞者 下記3名(敬称略)

正戸 圭	ヤマトプロテック株式会社 営業1部 東京1課長
宮坂 晶	ナカ工業株式会社 東京工場 管理課長兼製造第2課長
馬場 正博	中央理化工業株式会社 東京西営業所 副所長

(3) 消防機器開発普及功労者表彰(消防庁長官表彰)

ア 令和2年11月6日(金)

イ 受賞者 下記2名(敬称略)

吉池 達郎	有限会社吉池製作所 代表取締役社長
松本 功	オリロー株式会社 専務取締役

10 慶弔

(1) 令和2年11月2日(月) 黄綬褒章受章 祝電

ア 堀 國治 氏

株式会社初田製作所 専務取締役

イ 山形 明夫 氏

ホーチキ株式会社 代表取締役社長

ウ 堀川 正弘 氏

前出工機株式会社 代表取締役社長

(2) 令和2年11月6日(金) 消防機器開発普及功労者表彰 祝儀

ア 吉池 達郎 氏

有限会社吉池製作所 代表取締役社長

イ 松本 功 氏

オリロー株式会社 専務取締役

11 その他

一般財団法人日本消防設備安全センター 救助袋認定試験立会

(1) 場所 東京消防庁第七方面本部の訓練棟を使用

(2) 日時 8月3日(月)、8月4日(火)、9月28日(月)及び9月29日(火)

12 事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はないので、附属明細書は作成しない。